

A7002  
C53-45 デフなし

主な走行都市



|         |  |
|---------|--|
| 品番      | A7002  |
| JANコード  | 100516   |
| 商品名     | C53-45 デフなし  |
| 商品系形態   | 塗装済完成品   |
| 素材      | ABS樹脂  |
| 予価      | 8,600円   |
| 発売予定    | 2001年12月   |
| 規格      | N  |
| カートン内入数 | 内箱12・外箱24  |
| 実車      | 旅客輸送需要の増大、列車速度向上などの要求を背景に、大正14年当時世界的流行だった3シリンダ方式の8200形(後のC52)をアメリカから6両輸入した結果を見て、昭和3年から5年にかけて3シリンダ方式初の国産機として97両製造されたのがC53である。早速東海道本線・山陽本線の旅客列車の主力として活躍をしたが、3シリンダの保守点検や修理に手間がかかり、また後継機の出現や電化などの影響により昭和25年全車が廃車になった。この45号機は廃車後鷹取工場の片隅に放置してあったが、昭和36年自走して大阪の交通科学館(現、交通科学博物館)に入り、後に梅小路蒸気機関車館の開館に合わせて同館に転じて現在も保存されている。 |
| 商品      | 蒸気機関車シリーズの更なるラインナップの充実<br>現在も梅小路蒸気機関車館に保存されている45号機を製品化<br>ヘッドライト点灯(先頭部のみ)<br>付属の重連用カプラーで重連運転が可能<br>下回りが落ちて見えて見える定評の黒染車輪を採用   |
| 付属品     | 重連用カプラー  |
| パッケージ   | プラケース  |
| 関連商品    | A7001 C53-43 流線型   |
| 特記事項    | JR西日本承認済   |